

I 基本的な事項

令和5年度の事業実施にあたっては、健全な財政運営を基本に的確な収支計画を立て、共済組合制度との調整を図り、会員ニーズに対応した福利厚生事業を効果的に実施した。

資金運用にあたっては、安全性を最優先とした運用を行い、互助会資産の保全を図った。

II 一般的な事項

(1) 会員数

単位：人

区 分	令和3年度末	令和4年度末 (A)	令和5年度末 (B)	前年度比較 (B-A)
会 員 数	18,686人	18,365人	18,158人	△207

(2) 掛金

単位：円

区 分	令和3年度	令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	前年度比較 (B-A)
掛 金	365,625,964	357,492,136	354,862,627	△2,629,509

Ⅲ 各会計の決算概要

1 貸借対照表

(1) 貸借対照表の概要

(単位:千円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	令和4年度 決算額A	令和5年度 決算額B	前年度比較 (B-A)	科 目	令和4年度 決算額A	令和5年度 決算額B	前年度比較 (B-A)
流動資産	542,939	467,507	△ 75,432	流動負債	69,718	65,438	△ 4,280
現金	221	801	580	未払金	15,065	15,446	381
小口現金	100	100	0	預り金	54,653	49,992	△ 4,661
普通預金	439,394	462,583	23,189				
定期預金	100,000	0	△ 100,000				
未収金	2,365	3,327	962				
前払金	138	138	0				
立替金	11	52	41				
貯蔵品	710	506	△ 204				
固定資産	5,796,206	5,448,471	△ 347,735	固定負債	2,153,676	1,806,184	△ 347,492
特定資産	2,273,429	2,028,990	△ 244,439	職員退職	16,333	17,240	907
職員退職	16,333	17,240	907	会員退会給付	2,019,925	1,706,557	△ 313,368
直営施設	239,244	219,674	△ 19,570	長期前受金	109,638	75,807	△ 33,831
会員退会給付	2,017,852	1,792,076	△ 225,776	慶弔給付引当金	7,780	6,210	△ 1,570
その他固定資産	3,522,777	3,419,481	△ 103,296	受入保証金	0	370	370
土地	508,692	508,692	0				
建物	436,424	415,332	△ 21,092	負債合計	2,223,394	1,871,622	△ 351,772
建物付属設備	138,677	121,515	△ 17,162				
構築物	423	355	△ 68				
什器備品	4,193	5,386	1,193	正味財産の部			
ソフトウェア	2,540	1,693	△ 847	正味財産	4,115,751	4,044,356	△ 71,395
投資有価証券	1,673,700	1,680,204	6,504	(うち特定資産への充当額)	(239,244)	(305,193)	(65,949)
貸付金	758,128	686,304	△ 71,824	当期正味財産増減額	(△ 74,664)	(△ 71,395)	(3,269)
資産合計	6,339,145	5,915,978	△ 423,167	負債及び正味財産合計	6,339,145	5,915,978	△ 423,167

ア 流動資産

- ・普通預金や定期預金の変動は、資産運用の状況等により変動するもの。また、投資有価証券や貸付金とも併せて変動する。
- ・未収金の主な内容: 会館3月利用料

イ 固定資産

- ・職員退職給付引当金の内訳 (単位:千円)

経理	金額
法人会計	2,874
その他会計 会館経理(長岡)	14,366
合計	17,240

- ・直営施設整備積立金は、現在は積立を行っておらず、支出に応じて減少しているもの。会館への貸付金について、本積立金より行っている。
- ・会員退会給付準備引当金は、会員退会給付事業を廃止しているため、以前の引当金を支出に応じて取り崩していくもの。

ウ その他固定資産

- 投資有価証券保有状況 (単位:千円)

経理	金額
その他会計 福利厚生経理	1,061,318
法人会計	29,989
保険経理	39,982
医療互助経理	548,915
合計	1,680,204

エ 流動負債 未払金の主な内容

・3月分職員賃金、3月分業者への支払 等

オ 流動負債 預り金の内容

・生命保険料預り、社会保険料等預り

(2) 会館経理 施設別貸借対照表の概要

ア アトリウム長岡

(単位:千円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	令和4年度 決算額A	令和5年度 決算額B	前年度比較 (B-A)	科 目	令和4年度 決算額A	令和5年度 決算額B	前年度比較 (B-A)
流 動 資 産	10,907	7,251	△ 3,656	流 動 負 債	97,319	9,824	△ 87,495
現 金	150	199	49	未 払 金	7,040	6,633	△ 407
小 口 現 金	50	50	0	預 り 金	279	191	△ 88
普 通 預 金	6,716	1,975	△ 4,741	法 人 借 入 金	90,000	3,000	△ 87,000
未 収 金	3,314	4,532	1,218				
その他流動資産	677	495	△ 182	固 定 負 債	14,012	14,366	354
固 定 資 産	755,084	724,865	△ 30,219	職 員 退 職	14,012	14,366	354
特 定 資 産	14,012	14,366	354				
職 員 退 職	14,012	14,366	354	負 債 合 計	111,331	24,190	△ 87,141
その他固定資産	741,072	710,499	△ 30,573				
土 地	308,692	308,692	0				
建 物	306,641	291,083	△ 15,558				
建物付属設備	119,656	106,254	△ 13,402				
構 築 物	76	61	△ 15				
什 器 備 品	3,468	2,716	△ 752				
ソフトウェア	2,539	1,693	△ 846				
資 産 合 計	765,991	732,116	△ 33,875	正 味 財 産 の 部			
				正 味 財 産	654,660	707,926	53,266
				当期正味財産増減額	△ 53,167	53,266	106,433
				負債及び正味財産合計	765,991	732,116	△ 33,875

イ 高陽荘

(単位:千円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	令和4年度 決算額A	令和5年度 決算額B	前年度比較 (B-A)	科 目	令和4年度 決算額A	令和5年度 決算額B	前年度比較 (B-A)
流 動 資 産	10,300	9,913	△ 387	流 動 負 債	40,951	6,480	△ 34,471
現 金	71	601	530	未 払 金	5,896	6,394	498
小 口 現 金	50	50	0	預 り 金	55	86	31
普 通 預 金	7,950	7,095	△ 855	法 人 借 入 金	35,000	0	△ 35,000
未 収 金	2,058	2,017	△ 41				
その他流動資産	171	150	△ 21	固 定 負 債	0	0	0
固 定 資 産	349,809	342,447	△ 7,362	職 員 退 職	0	0	0
特 定 資 産	0	0	0				
職 員 退 職	0	0	0	負 債 合 計	40,951	6,480	△ 34,471
その他固定資産	349,809	342,447	△ 7,362				
土 地	200,000	200,000	0				
建 物	129,783	124,249	△ 5,534				
建物付属設備	19,022	15,262	△ 3,760				
構 築 物	347	294	△ 53				
什 器 備 品	657	2,642	1,985				
ソフトウェア	0	0	0				
資 産 合 計	360,109	352,360	△ 7,749	正 味 財 産 の 部			
				正 味 財 産	319,158	345,880	26,722
				当期正味財産増減額	△ 20,197	26,722	46,919
				負債及び正味財産合計	360,109	352,360	△ 7,749

※「法人借入金」について、令和5年度に、コロナ禍に行った貸付金については返済免除を行い、繰出金として計上した。

2 正味財産増減計算書(実施事業等会計 継1 公益文化)

(1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額 A	令和5年度 決算額 B	前年度比較 (B-A)
収益	収益	0	0	0	0
	計 ①	0	0	0	0
費用	事業費	30,819	15,849	20,712	4,863
	計 ②	30,819	15,849	20,712	4,863
評価損益前計上増減額 (①-②) ③		△ 30,819	△ 15,849	△ 20,712	△ 4,863
投資有価証券評価損益等 ④		0	0	0	0
他会計振替 ⑤		30,819	15,849	20,712	4,863
正味財産増減額 (③+④+⑤) ⑥		0	0	0	0
正味財産期首残高 ⑦		0	0	0	0
正味財産期末残高 (⑥+⑦) ⑧		0	0	0	0

【備考】

・⑤他会計振替＝保険経理の収益より事業費分を繰入れ

(2) 事業費内訳

単位:千円

科目	令和3年度	令和4年度(A)	令和5年度(B)	前年度比較(B-A)
職員給料	369	372	376	4
職員手当	156	162	168	6
福利厚生費	84	90	82	△ 8
旅費交通費	33	57	28	△ 29
印刷製本費	35	0	0	0
委託費	29,894	14,991	19,829	4,838
普及費	207	157	206	49
雑費	41	20	23	3
合計	30,819	15,849	20,712	4,863

【備考】

・委託費＝講演会及びコンサートの実施は、イベント業者へ委託して実施しており、出演者の出演料を含めて委託費として支出。

令和3年度は70周年記念事業として実施したため、例年より多く計上した。令和5年度は集客を考慮し、出演者を増やしたことにより例年より多く計上した。なお、これまでの公益目的支出計画実施が計画を下回る状況であったため、当初の計画に近づけるため、増額したもの。

(3) 実施内容

《概要》

県内で、無料のコンサートもしくは講演会又はその両方を開催する。

・上越(上越)、中越(中越、魚沼)、下越(新潟、下越、佐渡)の計6区分に分け、開催地を決定する。

・講演会とコンサートは同年に同地域で開催しない。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催日	令和3年10月17日	令和4年10月16日	令和5年9月24日
開催地	上越市	佐渡市	新潟市
開催場所	上越文化会館	佐渡中央文化会館	巻文化会館
講演者名等	プリンセス天功 マジック	米村でんじろう サイエンスショー	松丸亮吾 講演会
開催日	令和3年10月31日	/	令和5年11月12日
開催地	新発田市		魚沼市
開催場所	新発田市民文化会館		小出郷文化会館
講演者名等	いっこく堂・Mr.マリック 腹話術、マジック		にいがた演芸寄席 (三遊亭白鳥、四千頭身 他)

3 正味財産増減計算書(実施事業等会計 継2 パソコンソフト等贈呈)

(1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額 A	令和5年度 決算額 B	前年度比較 (B-A)
収益	収益	0	0	0	0
	計 ①	0	0	0	0
費用	事業費	15,161	14,389	14,085	△ 304
	計 ②	15,161	14,389	14,085	△ 304
評価損益前計上増減額 (①-②) ③		△ 15,161	△ 14,389	△ 14,085	304
投資有価証券評価損益等 ④		0	0	0	0
他会計振替 ⑤		15,161	14,389	14,085	△ 304
正味財産増減額 (③+④+⑤) ⑥		0	0	0	0
正味財産期首残高 ⑦		0	0	0	0
正味財産期末残高 (⑥+⑦) ⑧		0	0	0	0

※⑤他会計振替=実施事業等会計へ事業費分繰入れ

(2) 事業費内訳

単位:千円

科目	令和3年度	令和4年度(A)	令和5年度(B)	前年度比較(B-A)
パソコンソフト等贈呈事業	14,533	13,747	13,440	△ 307
職員給料	369	372	376	4
職員手当	156	162	168	6
福利厚生費	84	90	83	△ 7
雑費	19	18	18	0
合計	15,161	14,389	14,085	△ 304

(3) 実施内容

《概要》

一年度60の学校へ、1校25万円を限度に生徒等が活用するパソコンソフト、図書及びビデオ・CD・DVD(特別支援学校及び幼稚園のみ遊具を加える)の中で希望する物品を学校が選び、贈呈する。

・上越、中越、下越に分けて、学校数の比率に応じて贈呈校数を順次決定し、小学校→中学校→高等学校等の順に決定する。

・平成10年度に事業開始、平成25年度に県内全学校に贈呈を終了。平成25年度より、2巡目の贈呈を開始している。

地域	令和3年度	令和4年度	令和5年度
上越	中学校6校	中学校8校	中学校8校
中越	小学校6校、中学校19校	中学校24校	中学校24校
下越	小学校7校、中学校22校	中学校28校	中学校28校
実施計画校数合計	60校	60校	60校
備考	-	-	-

4 正味財産増減計算書(その他会計 他1 福利厚生)

(1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額 A	令和5年度 決算額 B	増減額 (B-A)
収益	特定資産運用益	8,256	6,316	5,994	△ 322
	受取会費	330,160	324,603	321,150	△ 3,453
	雑収益	15,667	15,231	14,861	△ 370
	計 ①	354,083	346,150	342,005	△ 4,145
費用	事業費	319,878	313,378	316,642	3,264
	計 ②	319,878	313,378	316,642	3,264
評価損益前計上増減額 (①-②) ③		34,205	32,772	25,363	△ 7,409
投資有価証券評価損益等 ④		△ 11,705	△ 12,064	△ 7,686	4,378
他会計振替 ⑤		0	0	0	0
正味財産増減額 (③+④+⑤) ⑥		22,500	20,708	17,677	△ 3,031
正味財産期首残高 ⑦		2,053,560	2,076,060	2,096,768	20,708
正味財産期末残高 (⑥+⑦) ⑧		2,076,060	2,096,768	2,114,445	17,677

【備考】

- ・①収益/受取会費=掛金。福利厚生経理と法人会計に、事業費按分により計上する。
- ・①収益/雑収益=有価証券運用益、貸付利息等
- ・②費用B/事業費=下記(2)給付事業+(3)その他事業+(4)事業費
- ・④投資有価証券評価損益等=平成30年度より資産運用でその他有価証券(満期保有目的以外の債券)を保有し、時価評価を計上するため発生。

(2) 給付事業の実績

単位:千円

科目	令和3年度		令和4年度(A)		令和5年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
会員弔慰金	15	7,500	14	7,000	8	4,000	△ 6	△ 3,000
家族弔慰金	470	10,760	458	10,840	451	10,300	△ 7	△ 540
傷病見舞金	608	5,472	742	6,678	676	6,084	△ 66	△ 594
障害見舞金	7	610	8	650	10	760	2	110
災害見舞金	8	520	23	3,660	29	3,060	6	△ 600
出産見舞金	661	13,220	656	13,120	651	13,020	△ 5	△ 100
結婚祝金	338	10,140	295	8,850	323	9,690	28	840
入学祝金	633	6,330	644	6,440	613	6,130	△ 31	△ 310
療養給付金	11,579	79,453	11,336	79,437	11,720	82,513	384	3,076
介護休暇給付金	110	6,186	59	3,453	32	1,892	△ 27	△ 1,561
合計	14,429	140,191	14,235	140,128	14,513	137,449	278	△ 2,679

(3) その他事業の実績

単位:千円

科目	令和3年度		令和4年度(A)		令和5年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
人間ドック等助成費	8,813	18,525	8,534	17,958	8,332	17,600	△ 202	△ 358
リフレッシュ助成費	1,473	43,296	1,334	39,507	1,382	42,467	48	2,960
供花費	10	213	9	192	6	132	△ 3	△ 60
直営施設宿泊助成費	405	1,012	590	1,475	1,232	3,080	642	1,605
指定宿泊施設利用助成費	44	88	61	122	183	366	122	244
直営施設利用助成	438	438	1,060	1,060	5,786	5,786	4,726	4,726
直営施設弁当助成	12,037	12,037	10,884	10,884	7,572	7,572	△ 3,312	△ 3,312
カフェテリアプラン	15,448	77,116	15,091	75,322	15,203	75,873	112	551
計	38,668	152,725	37,563	146,520	39,696	152,876	2,133	6,356

【備考】

- ・直営施設宿泊助成、指定宿泊施設利用助成、直営施設利用助成、直営施設弁当助成
=近年のコロナ禍により、宿泊や宴会利用が減少していたが、徐々に回復し、特に令和5年5月にコロナウイルス感染症が5類へ移行してからの回復が大きかった。宴会利用の代替として行ってきた弁当利用は、宴会が戻ったことに伴い、減少したものの。

ア 会員退会給付金の給付状況

単位:千円

科 目	令和3年度		令和4年度(A)		令和5年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
会員退会給付金	918	351,587	978	353,593	929	313,368	△ 49	△ 40,225

【備考】

・引当金を取り崩して支払うため、事業費には計上されない。参考に記載。

イ 貸付残高の内訳

単位:千円

科 目	令和3年度		令和4年度(A)		令和5年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
生活資金	143	87,824	126	82,022	121	89,083	△ 5	7,061
住宅資金	159	271,934	139	270,511	121	250,083	△ 18	△ 20,428
住宅災害資金	1	103	0	0	0	0	0	0
災害資金	1	400	3	2,088	2	1,281	△ 1	△ 807
育児休業資金	7	1,732	4	1,125	2	819	△ 2	△ 306
自動車資金	335	402,161	313	319,184	287	259,894	△ 26	△ 59,290
教育資金	84	95,325	79	83,198	78	85,143	△ 1	1,945
合計	730	859,479	664	758,128	611	686,303	△ 53	△ 71,825

【備考】

・会員への貸付であるため、事業費には計上されない。参考に記載。

(4)事業費の内訳

単位:千円

科 目	令和3年度	令和4年度(A)	令和5年度(B)	前年度比較(B-A)
職員給料	11,182	11,272	11,368	96
職員手当	4,734	4,896	5,085	189
福利厚生費	2,529	2,720	2,498	△ 222
通信運搬費	434	430	606	176
印刷製本費	0	5	0	△ 5
保険料	3,066	2,912	2,128	△ 784
普及費	138	0	235	235
委託費	2,112	2,053	2,127	74
公租公課	2,749	2,422	2,247	△ 175
雑費	18	20	23	3
合計	26,962	26,730	26,317	△ 413

【備考】

・保険料＝貸付事故に備える保険に加入しているもの。貸付残高に保険料率をかけて支払うため、毎年変動する。

・普及費＝事務局と会館が一体となり実施する収支均衡に向けた方策実現のためにかかる経費を計上。広報費や研修費等。

5 正味財産増減計算書(その他会計 他2 保険)

(1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額 A	令和5年度 決算額 B	増減額 (B-A)
収益	事業収益	23,476	21,888	19,944	△ 1,944
	雑収益	145	161	111	△ 50
	計 ①	23,621	22,049	20,055	△ 1,994
費用	事業費	3,655	3,344	3,200	△ 144
	計 ②	3,655	3,344	3,200	△ 144
評価損益前計上増減額 (①-②) ③		19,966	18,705	16,855	△ 1,850
投資有価証券評価損益等 ④		0	0	0	0
他会計振替 ⑤		△ 45,981	△ 30,238	△ 34,797	△ 4,559
正味財産増減額 (③+④+⑤) ⑥		△ 26,015	△ 11,533	△ 17,942	△ 6,409
正味財産期首残高 ⑦		101,522	75,507	63,974	△ 11,533
正味財産期末残高 (⑥+⑦) ⑧		75,507	63,974	46,032	△ 17,942

【備考】

- ・①収益/事業収益=生命保険料の団体取扱いによる手数料収益
- ・⑤他会計振替=実施事業等会計へ事業費を繰入れ。

(2) 事業費の内訳

単位:千円

科目	令和3年度	令和4年度(A)	令和5年度(B)	前年度比較
職員給料	739	745	751	6
職員手当	313	323	336	13
福利厚生費	167	180	165	△ 15
印刷製本費	0	5	0	△ 5
委託費	17	17	18	1
公租公課	2,374	2,034	1,893	△ 141
雑費	45	40	37	△ 3
合計	3,655	3,344	3,200	△ 144

(3) 年度末取扱件数及び保険会社別手数料内訳

単位:千円

科目	令和3年度		令和4年度(A)		令和5年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
ジブラルタ生命	11	50	0	29	0	0	0	△ 29
第一生命	789	3,645	723	3,349	646	2,965	△ 77	△ 384
富国生命	1,631	5,436	1,544	5,091	1,409	4,629	△ 135	△ 462
朝日生命	123	504	103	467	96	417	△ 7	△ 50
明治安田生命	275	1,326	261	1,263	249	1,155	△ 12	△ 108
住友生命	411	2,192	379	1,973	333	1,745	△ 46	△ 228
プルデンシャル生命	1,643	6,658	1,637	6,449	1,475	5,967	△ 162	△ 482
アフラック生命	2,076	3,547	1,902	3,161	1,737	2,971	△ 165	△ 190
オリックス生命	45	118	41	106	36	95	△ 5	△ 11
合計	7,004	23,476	6,590	21,888	5,981	19,944	△ 609	△ 1,944

【備考】

- ・指定の取扱件数に達しなかったことから、ジブラルタ生命は令和4年度中に契約終了。

6 正味財産増減計算書(その他会計 他3 医療互助)

(1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額 A	令和5年度 決算額 B	増減額 (B-A)
収益	受取入会金	45,407	39,613	33,832	△ 5,781
	雑収益	4,329	4,326	3,858	△ 468
	計 ①	49,736	43,939	37,690	△ 6,249
費用	事業費	59,311	50,677	44,627	△ 6,050
	計 ②	59,311	50,677	44,627	△ 6,050
評価損益前計上増減額 (①-②) ③		△ 9,575	△ 6,738	△ 6,937	△ 199
投資有価証券評価損益等 ④		△ 2,410	△ 4,220	△ 3,760	460
他会計振替 ⑤		0	0	0	0
正味財産増減額 (③+④+⑤) ⑥		△ 11,985	△ 10,958	△ 10,697	261
正味財産期首残高 ⑦		562,795	550,810	539,852	△ 10,958
正味財産期末残高 (⑥+⑦) ⑧		550,810	539,852	529,155	△ 10,697

【備考】

- ①収益/受取入会金=加入時に一括して会費を受け取り、納入された会費は長期前受金として計上。毎年、各会員の1年分取り崩し額を受取入会金として当年度に計上する。
- ④投資有価証券評価損益等=令和2年度より資産運用でその他有価証券(満期保有目的以外の債券)を保有し、時価評価を計上するため発生。

(2) 事業費の内訳

単位:千円

科目	令和3年度		令和4年度(A)		令和5年度(B)		前年度比較(B-A)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
医療見舞金	3,848	53,533	3,331	45,181	2,844	39,483	△ 487	△ 5,698
死亡弔慰金	5	0	3	40	1	0	△ 2	△ 40
長寿祝金	136	0	119	0	152	0	33	0
職員給料		2,241		2,259		2,278		19
職員手当		949		981		1,019		38
福利厚生費		507		545		501		△ 44
通信運搬費		269		287		274		△ 13
委託費		893		279		0		△ 279
公租公課		588		587		515		△ 72
雑費		331		518		557		39
合計	3,989	59,311	3,453	50,677	2,997	44,627	△ 456	△ 6,050

【備考】

- 医療見舞金=加入者数の減少に伴い、給付金額も減少しているもの。
- 死亡弔慰金・長寿祝金=慶弔給付引当金として給付最低額を負債計上しており、引当金を取り崩して支払うため、事業費には計上されない。(引当金の取り崩しで足りない場合に費用として計上する。)
- 委託費=令和4年度中に事務の内製化をしたため、委託費の計上がなくなった。

(3) 加入者の実績

単位:人

項目	令和3年度	令和4年度(A)	令和5年度(B)	前年度比較(B-A)
年度末加入者	902	778	621	△ 157

【備考】

- 退職者医療互助事業は、平成31年4月1日加入を最後に、新規募集を停止。ただし、現加入者が退会するまで事業は継続する。

7 正味財産増減計算書(その他会計 他4 会館 アトリウム長岡)

(1) 正味財産増減計算書の概要

(単位:千円)

区 分	科 目	令和4年度 決 算 額 A	令和5年度		増 減 額 (B-A)	備 考
			変更予算額	決 算 額 B		
正味財産	期首残高①	707,827	654,660	654,660	△ 53,167	
収 益	事業収益	83,814	97,097	98,331	14,517	宴会利用者数の増加
	雑収益	7,296	533	546	△ 6,750	コロナ関連の助成金(雇調金等)の終了
	取崩益	0	0	0	0	
	補助金	0	0	0	0	
	事業収益計②	91,110	97,630	98,877	7,767	
	繰入金③	1,578	98,650	98,650	97,072	借入金返済免除による繰入
	収益合計④	92,688	196,280	197,527	104,839	
費 用	人件費	54,211	43,663	44,366	△ 9,845	契約職員の退職等による
	材料費	13,438	21,382	21,876	8,438	宴会増に伴う仕入れ増加
	営業費	45,178	46,132	45,179	1	
	事業費用計⑤	112,827	111,177	111,421	△ 1,406	
	繰出金⑥	0	0	0	0	
	減価償却費⑦	33,028	32,881	32,839	△ 189	
	費用合計⑧	145,855	144,058	144,260	△ 1,595	
	当期経常増減額(④-⑧)⑨	△ 53,167	52,222	53,267	106,434	
経常	外収益	0	0	0	0	
	外費用	0	0	0	0	
	差引⑩	0	0	0	0	
	正味財産増減額(⑨+⑩)⑪	△ 53,167	52,222	53,267	106,434	
	正味財産期末残高(①+⑪)⑫	654,660	706,882	707,927	53,267	

【参考】

他会計からの繰入状況

(単位:千円)

会計区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
法人会計(一般会計)	180,649	70,350	7,295	0	0	0	1,578	98,650
累計	486,000	556,350	563,645	563,645	563,645	563,645	565,223	663,873

施設利用助成の状況

(単位:人、千円)

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	利用人数	助成額	利用人数	助成額	利用人数	助成額	利用人数	助成額
宿泊	863	2,158	371	928	593	1,483	1,236	3,080
宴会	869	869	2,668	2,668	3,372	3,372	4,597	4,597
合計	1,732	3,027	3,039	3,596	3,965	4,855	5,833	7,677

※法人会計借入金の状況

会計区分	令和5年度
法人会計借入金	3,000
累計	3,000

施設名 アトリウム長岡

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
利用 人員	宿 泊	3,640 人	4,364 人	4,551 人	(対前年 187 人)
	宿 泊 利 用 率	42.2 %	50.6 %	52.8 %	(対前年 2.2 %)
	会 議	17,427 人	20,928 人	20,220 人	(対前年 △ 708 人)
	宴 会	448 人	1,657 人	5,685 人	(対前年 4,028 人)
	法 事	44 人	77 人	121 人	(対前年 44 人)
	弁 当	3,348 人	2,903 人	1,758 人	(対前年 △ 1,145 人)
	ゲ リ ル	9,601 人	10,426 人	3,269 人	(対前年 △ 7,157 人)
計		34,508 人	40,355 人	35,604 人	(対前年 △ 4,751 人)
事業 収 益 等	利用料収益	38,444 千円	43,287 千円	42,083 千円	(対前年 △ 1,204 千円)
	飲食料収益1	23,174 千円	27,747 千円	22,447 千円	(対前年 △ 5,300 千円)
	飲食料収益2	1,346 千円	3,534 千円	10,293 千円	(対前年 6,759 千円)
	奉仕料収益	4,431 千円	5,653 千円	7,260 千円	(対前年 1,607 千円)
	商品売上収益	554 千円	660 千円	13,095 千円	(対前年 12,435 千円)
	雑 収 益	2,157 千円	2,933 千円	3,153 千円	(対前年 220 千円)
	事業収益計 ①	70,106 千円	83,814 千円	98,331 千円	(対前年 14,517 千円)
の 内 訳	雑 収 益 ②	8,705 千円	7,296 千円	546 千円	(対前年 △ 6,750 千円)
	繰 入 金 ③	0 千円	1,578 千円	98,650 千円	(対前年 97,072 千円)
	補 助 金 ④	0 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)
	取 崩 益 ⑤	0 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)
	経 常 収 益 (①+②+③+④+⑤) ⑥	78,811 千円	92,688 千円	197,527 千円	(対前年 104,839 千円)
事業 費 用 等 の 内 訳	職員給与・手当・賃金	47,886 千円	48,396 千円	39,334 千円	(対前年 △ 9,062 千円)
	退職給付費用	371 千円	345 千円	354 千円	(対前年 9 千円)
	福利厚生費	5,546 千円	5,470 千円	4,678 千円	(対前年 △ 792 千円)
	(人件費)計 ⑦	53,803 千円	54,211 千円	44,366 千円	(対前年 △ 9,845 千円)
	飲 食 材 料 費	9,681 千円	11,414 千円	8,353 千円	(対前年 △ 3,061 千円)
	飲 料 材 料 費	800 千円	1,526 千円	3,590 千円	(対前年 2,064 千円)
	商 品 仕 入	358 千円	498 千円	9,933 千円	(対前年 9,435 千円)
	(材料費)計 ⑧	10,839 千円	13,438 千円	21,876 千円	(対前年 8,438 千円)
	旅 費	134 千円	154 千円	123 千円	(対前年 △ 31 千円)
	通信運搬・印刷製本	762 千円	796 千円	661 千円	(対前年 △ 135 千円)
消 耗 品 費	3,907 千円	3,933 千円	2,526 千円	(対前年 △ 1,407 千円)	
光 熱 水 料	13,729 千円	18,466 千円	15,620 千円	(対前年 △ 2,846 千円)	
公 租 公 課 等	3,591 千円	9,460 千円	9,169 千円	(対前年 △ 291 千円)	
そ の 他	11,042 千円	12,369 千円	17,080 千円	(対前年 4,711 千円)	
(営業費)計 ⑨	33,165 千円	45,178 千円	45,179 千円	(対前年 1 千円)	
事業費小計(⑦+⑧+⑨) ⑩	97,807 千円	112,827 千円	111,421 千円	(対前年 △ 1,406 千円)	
繰 出 金 ⑪	0 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)	
償 却 費 ⑫	33,635 千円	33,028 千円	32,839 千円	(対前年 △ 189 千円)	
経常費用(⑩+⑪+⑫) ⑬	131,442 千円	145,855 千円	144,260 千円	(対前年 △ 1,595 千円)	
営業損益(①-⑩) ⑭	△ 27,701 千円	△ 29,013 千円	△ 13,090 千円	(対前年 15,923 千円)	
減価償却前損益 (①+②+④+⑤-⑩) ⑮	△ 18,996 千円	△ 21,717 千円	△ 12,544 千円	(対前年 9,173 千円)	
経常損益(⑥-③)-(⑬-⑪) ⑯	△ 52,631 千円	△ 54,745 千円	△ 45,383 千円	(対前年 9,362 千円)	
人件費売上対比率⑦÷①	76.7%	64.7%	45.1%		
材料費売上対比率⑧÷①	15.5%	16.0%	22.2%		
営業費売上対比率⑨÷①	47.3%	53.9%	45.9%		
営業損益売上対比率⑭÷①	-39.5%	-34.6%	-13.3%		
経常損益比率(⑥-③)÷(⑬-⑪)	60.0%	62.5%	68.5%		

8 正味財産増減計算書(その他会計 他4 会館 高陽荘)

(1) 正味財産増減計算書の概要

(単位:千円)

区 分	科 目	令和4年度	令和5年度		増 減 額 (B-A)	備 考
		決 算 額 A	変更予算額	決 算 額 B		
正味財産期首残高①		339,355	319,158	319,158	△ 20,197	
収 益	事業収益	34,353	44,605	50,739	16,386	宴会利用者数の増加
	雑収益	5,634	940	1,036	△ 4,598	コロナ関連の助成金(雇調金等)の終了
	取崩益	0	0	0	0	
	補助金	0	0	0	0	
	事業収益計②	39,987	45,545	51,775	11,788	
	繰入金③	0	0	43,000	43,000	借入金返済免除による繰入
収益合計④	39,987	45,545	94,775	54,788		
費 用	人件費	17,335	18,758	18,721	1,386	
	材料費	18,553	21,898	25,433	6,880	宴会増に伴う仕入れ増加
	営業費	14,184	14,539	13,924	△ 260	
	事業費用計⑤	50,072	55,195	58,078	8,006	
	繰出金⑥	0		0	0	
	減価償却費⑦	10,112	9,844	9,975	△ 137	
費用合計⑧	60,184	65,039	68,053	7,869		
当期経常増減額(④-⑧)⑨	△ 20,197	△ 19,494	26,722	46,919		
経常	外収益	0	0	0	0	
	外費用	0	0	0	0	
	差引⑩	0	0	0	0	
正味財産増減額(⑨+⑩)⑪	△ 20,197	△ 19,494	26,722	46,919		
正味財産期末残高(①+⑪)⑫	319,158	299,664	345,880	26,722		

【参考】

他会計からの繰入状況

(単位:千円)

会計区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
法人会計	2,484	56,144	0	0	6,802	0	0	43,000
累計	402,373	458,517	458,517	458,517	465,319	465,319	465,319	508,319

施設利用助成の状況

(単位:人、千円)

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	利用人数	助成額	利用人数	助成額	利用人数	助成額	利用人数	助成額
宴会・弁当	1,803	1,803	7,582	7,582	8,572	8,572	8,761	8,761
合計	1,803	1,803	7,582	7,582	8,572	8,572	8,761	8,761

施設名 高陽荘

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
利 用 人 員	宿 泊	人	人	人	(対前年 0 人)
	宿泊利用率	%	%	%	(対前年 0.0 %)
	会 議	9,768 人	10,747 人	12,653 人	(対前年 1,906 人)
	宴 会	517 人	1,240 人	5,138 人	(対前年 3,898 人)
	法 事	0 人	人	人	(対前年 0 人)
	弁 当	8,239 人	8,583 人	6,213 人	(対前年 △ 2,370 人)
	グ リ ル	人	人	人	(対前年 0 人)
計		18,524 人	20,570 人	24,004 人	(対前年 3,434 人)
事 業 収 益 等 の 内 訳	利用料収益	6,958 千円	7,263 千円	8,326 千円	(対前年 1,063 千円)
	事業 飲食料収益1	16,334 千円	20,423 千円	29,228 千円	(対前年 8,805 千円)
	飲食料収益2	1,106 千円	2,625 千円	8,930 千円	(対前年 6,305 千円)
	奉仕料収益	2,445 千円	3,025 千円	3,078 千円	(対前年 53 千円)
	商品売上収益	597 千円	540 千円	613 千円	(対前年 73 千円)
	雑 収 益	394 千円	477 千円	564 千円	(対前年 87 千円)
	事業収益計 ①	27,834 千円	34,353 千円	50,739 千円	(対前年 16,386 千円)
	雑 収 益 ②	9,409 千円	5,634 千円	1,036 千円	(対前年 △ 4,598 千円)
	繰 入 金 ③	0 千円	0 千円	43,000 千円	(対前年 43,000 千円)
	補 助 金 ④	0 千円	0 千円	千円	(対前年 0 千円)
	取 崩 益 ⑤	0 千円	0 千円	千円	(対前年 0 千円)
経 常 収 益 (①+②+③+④+⑤) ⑥	37,243 千円	39,987 千円	94,775 千円	(対前年 54,788 千円)	
事 業 費 用 等 の 内 訳	職員給与・手当・賃金	15,601 千円	15,773 千円	17,071 千円	(対前年 1,298 千円)
	退職給付費用	0 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)
	福利厚生費	1,461 千円	1,562 千円	1,650 千円	(対前年 88 千円)
	(人件費)計 ⑦	17,062 千円	17,335 千円	18,721 千円	(対前年 1,386 千円)
	飲 食 材 料 費	13,987 千円	17,063 千円	21,853 千円	(対前年 4,790 千円)
	飲 料 材 料 費	413 千円	1,091 千円	3,101 千円	(対前年 2,010 千円)
	商 品 仕 入	356 千円	399 千円	479 千円	(対前年 80 千円)
	(材料費)計 ⑧	14,756 千円	18,553 千円	25,433 千円	(対前年 6,880 千円)
	旅 費	15 千円	23 千円	14 千円	(対前年 △ 9 千円)
	通信運搬・印刷製本	607 千円	579 千円	519 千円	(対前年 △ 60 千円)
	消 耗 品 費	537 千円	683 千円	516 千円	(対前年 △ 167 千円)
	光 熱 水 料	2,830 千円	3,563 千円	3,422 千円	(対前年 △ 141 千円)
	公 租 公 課 等	845 千円	1,856 千円	1,835 千円	(対前年 △ 21 千円)
そ の 他	6,872 千円	7,480 千円	7,618 千円	(対前年 138 千円)	
(営業費)計 ⑨	11,706 千円	14,184 千円	13,924 千円	(対前年 △ 260 千円)	
事業費小計(⑦+⑧+⑨) ⑩	43,524 千円	50,072 千円	58,078 千円	(対前年 8,006 千円)	
繰 出 金 ⑪	0 千円	0 千円	0 千円	(対前年 0 千円)	
償 却 費 ⑫	10,959 千円	10,112 千円	9,975 千円	(対前年 △ 137 千円)	
経常費用(⑩+⑪+⑫) ⑬	54,483 千円	60,184 千円	68,053 千円	(対前年 7,869 千円)	
営業損益(①-⑩) ⑭	△ 15,690 千円	△ 15,719 千円	△ 7,339 千円	(対前年 8,380 千円)	
減価償却前損益 (①+②+④+⑤-⑩) ⑮	△ 6,281 千円	△ 10,085 千円	△ 6,303 千円	(対前年 3,782 千円)	
経常損益(⑥-⑬)-(⑮-⑪) ⑯	△ 17,240 千円	△ 20,197 千円	△ 16,278 千円	(対前年 3,919 千円)	
人件費売上対比率⑦÷①	61.3%	50.5%	36.9%		
材料費売上対比率⑧÷①	53.0%	54.0%	50.1%		
営業費売上対比率⑨÷①	42.1%	41.3%	27.4%		
営業損益売上対比率⑭÷①	-56.4%	-45.8%	-14.5%		
経常損益比率(⑥-⑬)÷(⑮-⑪)	68.4%	66.4%	76.1%		

9 正味財産増減計算書(法人会計)

(1) 正味財産増減計算書の概要

単位:千円

区分	科目	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額 A	令和5年度 決算額 B	増減額 (B-A)
収益	特定資産運用益	765	756	588	△ 168
	受取会費	35,465	32,889	33,712	823
	雑収益	431	227	277	50
	計 ①	36,661	33,872	34,577	705
費用	管理費	34,433	31,810	33,348	1,538
	繰出額	0	1,578	141,650	140,072
	計 ②	34,433	33,388	174,998	141,610
評価損益前計上増減額 (①-②) ③		2,228	484	△ 140,421	△ 140,905
投資有価証券評価損益等 ④		0	0	0	0
他会計振替 ⑤		0	0	0	0
正味財産増減額 (③+④+⑤) ⑥		2,228	484	△ 140,421	△ 140,905
正味財産期首残高 ⑦		438,625	440,853	441,337	484
正味財産期末残高 (⑥+⑦) ⑧		440,853	441,337	300,916	△ 140,421

【備考】

- ・①収益／受取会費＝掛金。福利厚生経理と法人会計に、事業費按分により計上する。
- ・①収益／繰入額及び②費用／繰出額＝会計間の資金移動がある場合に計上。
令和4年度は、アトリウム長岡資産に係る繰出を行ったもの。令和5年度は、コロナ禍に行った両施設への貸付金について、返済免除としたため、繰出金として計上したもの。

(2) 管理費の内訳

単位:千円

科目	令和3年度	令和4年度(A)	令和5年度(B)	前年度比較(B-A)
職員給料	8,941	9,013	9,090	77
職員手当	3,785	3,915	4,066	151
退職給付費用	645	415	553	138
福利厚生費	2,022	2,175	1,997	△ 178
職員旅費	119	189	204	15
会議費	229	183	362	179
通信運搬費	875	823	827	4
消耗品費	1,576	1,140	972	△ 168
印刷製本費	1,026	1,161	1,208	47
委託費	4,123	4,297	5,915	1,618
賃借料	835	808	814	6
負担金	706	637	727	90
公租公課	2,837	4,020	5,984	1,964
支払寄付金	500	500	500	0
減価償却費	6,099	1,842	41	△ 1,801
雑費	115	692	88	△ 604
合計	34,433	31,810	33,348	1,538

【備考】

- ・会議費＝令和5年度は、直営施設運営検討会を実施したため、増加したもの。
- ・消耗品費＝令和4年度は、文献加除を廃止したため減少したもの。
- ・委託費＝互助会システムの機器更新に係る委託費用及びサーバ等入替に伴う会計システムデータ移行費用の増加。
- ・公租公課＝消費税及び資産運用益にかかる源泉税を支出するもの。令和3年度は、消費税の還付金が発生したため、例年より減少したもの。
令和4年度及び令和5年度は、消費税に係る支出が前年度に比べて増加したもの。
- ・支払寄付金＝いじめ見逃しゼロ県民運動協賛金を支出しているもの。
- ・減価償却費＝システムや機器の償却費を計上するもの。令和4年度及び令和5年度は、償却が終了した資産があったため、減少したもの。
- ・雑費＝令和4年度はPCB廃棄物を廃棄処理したため増加したもの。